

市民に親しまれる四日市港づくりのための市民ワークショップ

The citizen workshop to make Yokkaichi Port familiar to citizen

松浦健治郎¹⁾

Kenjiro Matsuura¹⁾

1. はじめに

本稿は、四日市港管理組合と三重大学都市計画研究室との共同研究である「市民に親しまれる四日市港づくりのための市民ワークショップ」の内容を取りまとめたものである。

四日市港管理組合から本ワークショップのお話を伺った時には、正直な所、難しい課題だと感じた。四日市港を市民が親しまれる港にしていきたいという話だったと記憶しているが、現在、稼働中の工業港に市民が足を運ぶ必然性を感じられなかったためである。霞ヶ浦地区には、霞ヶ浦緑地や四日市ドームなどがあり、市民が集える空間整備がされているが、いわゆる旧港と呼ばれている地区には、潮吹き防波堤や末広橋梁などの近代化遺産はあるものの、資源が点在しており、平日には貨物用トラックなどが行き交うことから、四日市市民にはなじみの薄い地区である。四日市市民にとって、旧港は遠い存在であり、週末に遊びに行く対象として考えにくい場所と言える。

このようなネガティブなイメージを抱きながら、市民ワークショップを企画したわけだが、参加者からの積極的な意見や提案に耳を傾けていく内に、旧港をなんとか市民に親しまれる港にしていく方策を検討していきたいと考えようになった。

2回に分けて行ったまち歩きを踏まえて行った2回アイデア検討の結果を基にして、最終的に100のアイデアをカード形式として取りまとめることが出来た。問題点を改善するアイデアや空間資源を活かすアイデアまで多様なアイデアが参加者から出された。これらのアイデアの中には実現不可能に思われるものや、すぐに実現が可能なものまで様々である。

来年度以降、すぐにできそうで、かつ効果的だと思われるアイデアの実現化に向けた取り組みを官民協働で実施していくことが重要である。また、100のアイデアを市民に発表する機会を積極的に設けて、今年度の取り組みの輪を広げていくことが大切である。仮説的に提示したシナリオや実施主体については、さらなる検討が必要と思われる。

なお、本稿では紙面の都合上、報告書¹⁾の一部を抜粋して紹介する。

2. 活動経過の概要

第1～2回ワークショップでは、四日市港北東方面・四日市港南方面のまち歩きにより、地域資源を発見した。第3回ワークショップでは、まち歩きの結果を踏まえて「市民に親しまれる四日市港づくりのためのアイデアカード」の検討を行った。第4回ワークショップでは、これ

1) 三重大学大学院工学研究科建築学専攻 Department of Architecture, Faculty of Engineering, Mie University

までの検討結果を踏まえて「市民に親しまれる四日市港づくりのためのアイデアカード（案）」を発表し、修正意見を検討した。

(1) 第1回市民ワークショップ

3つのグループに分かれて四日市港北東方面のまち歩きを実施した。まず、各グループに分かれて、まち歩きのルートを決め、発表係・カメラ係等の役割分担を決めた。グループ会議の後、1時間半ほどかけてまちを歩いた。10分休憩の後、見てきたもののまとめを行った。具体的には、資源だと感じたもの、問題だと感じたものを模造紙に書き込んでいった。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

(2) 第2回市民ワークショップ

3つのグループに分かれて、四日市港南方面のまち歩きを実施した。まず、各グループに分かれて、まち歩きのルートを決め、発表係・カメラ係等の役割分担を決めた。グループ会議の後、1時間半ほどかけてまちを歩いた。10

分休憩の後、見てきたもののまとめを行った。具体的には、資源だと感じたもの、問題だと感じたものを模造紙に書き込んでいった。最後にグループ毎の全体発表が行われた。

(3) 第3回市民ワークショップ

2回のまち歩き結果の発表を行った後に、3つのテーマ（広報・アクセス、イベント、スポット整備）に分かれて、これまでの結果を元にまちづくりのアイデアカードの検討を行った。具体的には、各テーマ毎にまち歩きで出た意見を基にしたアイデアカードを元に、加筆修正意見を検討した上で、アイデアカードについて効果的だと思われるカードを一人10個程度選んでシールを貼ることによって、重要なアイデアカードの抽出を行った。次に多く貼られたカードについて、1) 段階（短期（1～3年）・中期（3～10年）・長期（10～30年））、2) 役割（誰がやるか）、3) 実現化するための課題、を検討した。最後にグループ毎の全体発表が行

	実施日	検討内容
第1回 ワークショップ	2009年 11月21日	まち歩きによる資源・問題点の発見 まち歩き（四日市港北東方面方面） まち歩き（四日市港南方面）
第2回 ワークショップ	2009年 12月13日	
第3回 ワークショップ	2010年 1月21日	市民が四日市港を訪れるためのアイデアの検討 ・アイデアカードの加筆修正意見の検討 ・重要なアイデアカードの抽出 ・重要なアイデアカードの実現シナリオの検討 ・アイデアカードの最終案の発表 ・最終案に対する修正意見の検討 ・重要なアイデアカードの実現シナリオの検討
第4回 ワークショップ	2010年 3月4日	

図1：ワークショップの流れ

われた。

(4) 第4回市民ワークショップ

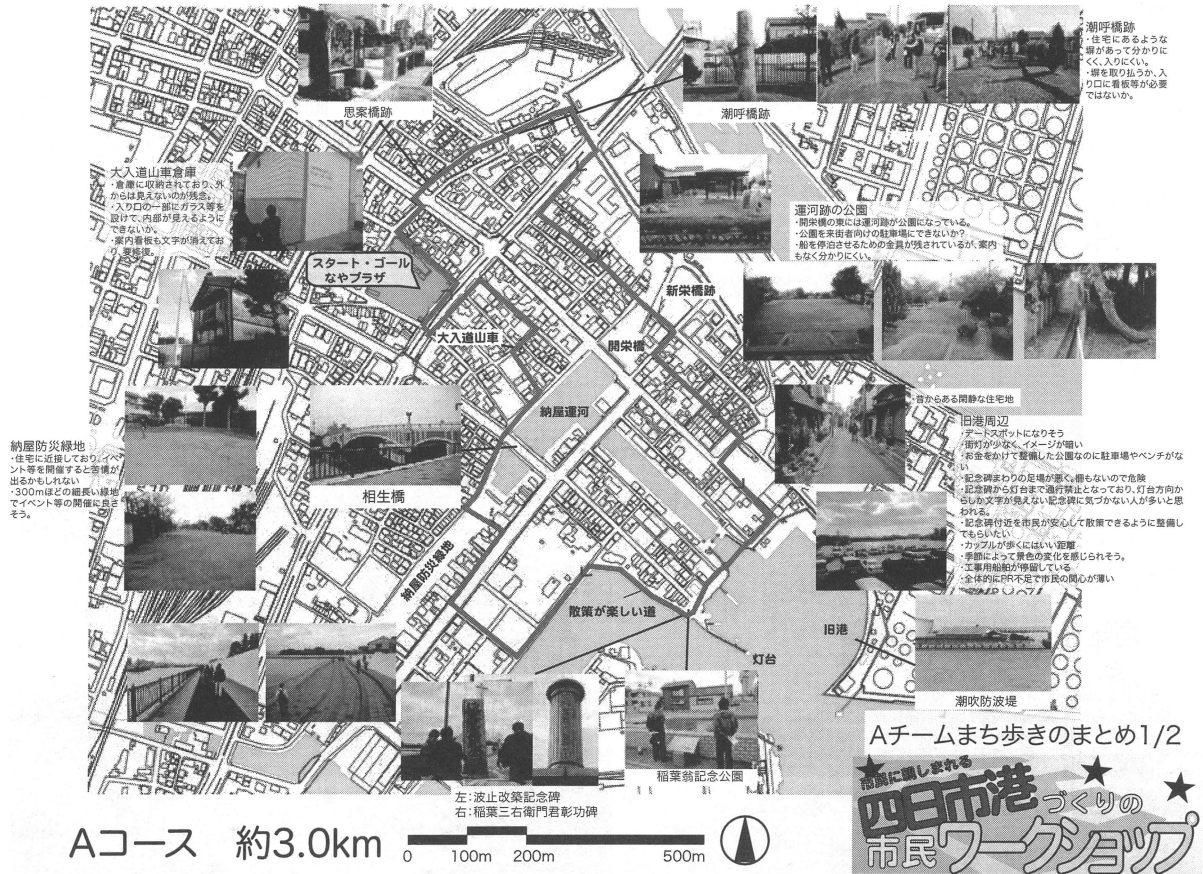
前回のワークショップの結果発表を行った後に、アイデアカードの最終案の発表があった。後半は、3つのテーマ（広報・アクセス、イベント、スポット整備）に分かれて、アイデアカードの最終案に対する修正意見の検討が行われた。

参考文献

- 1) 三重大学都市計画研究室・四日市港管理組合：「市民に親しまれる四日市港づくりのための市民ワークショップ」報告書（2010）



写真1：ワークショップの風景



アイデアカードの検討

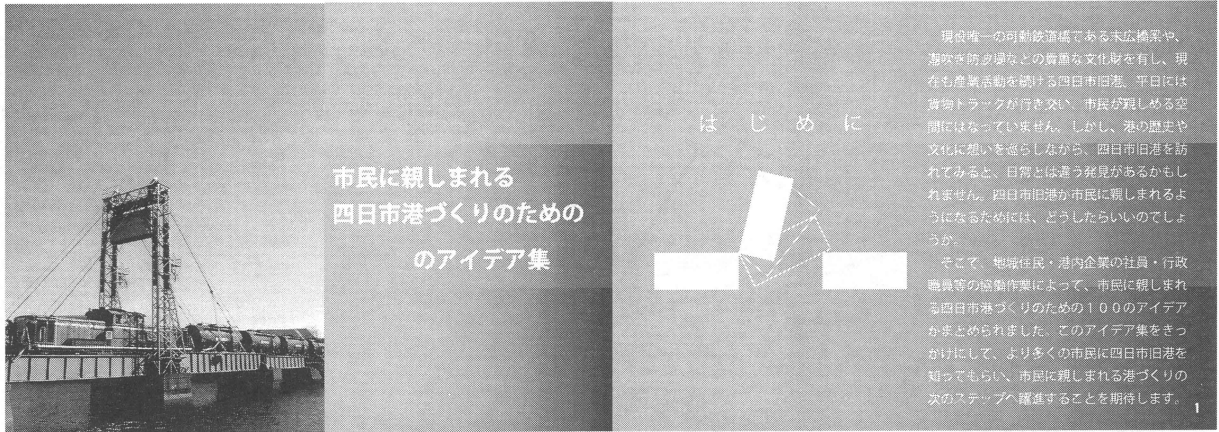
<p>駐車場・アクセスの確保</p> <p>駐車場</p> <p>駐車場の整備</p> <p>土日だけでも良いので駐車場に利用できる場所を探る(企業さんの駐車場利用など)</p> <p>駐車場の確保 関連企業の協力により土日に駐車場を提供してもらう</p> <p>四日市駅からの定刻バスを運行させる</p> <p>中部空港へのアクセスポートを</p>	<p>夜景を活用</p> <p>コンビナートと港の夜景のきれいな四日市港</p> <p>コンビナート施設のイメージアップ(夜景など)</p> <p>釣り・ウォーキング・イベント</p> <p>魚釣公園やウォーキングコースの整備</p> <p>釣り場 歩ける雰囲気づくり</p> <p>全ての史跡を巡ればポートビル14階の入場料を無料とするようなイベントを考える必要あり</p> <p>語り部</p>	<p>マップ・案内板づくり</p> <p>山歩きするのによくあるような地図と歩くところなどの看板をたてる</p> <p>市民が自由に気楽に訪れることができるような案内図やルートを作成し、PRする。</p> <p>マップの作成</p> <p>マップや看板の作成</p> <p>中心となる観光スポットを決めて、そこから各地に誘導するように</p> <p>コアとなる施設や場所を整備する(駐車場・入り口・ルート)。潮吹防波堤:価値あり。見るに値する。面白い</p>	<p>ランドマーク・眺望</p> <p>近鉄駅からの眺望(東方向・海側)。コスモの煙突ではなくポートビルのような建物。伊勢湾の眺めを売りにしたものを</p> <p>休憩所</p> <p>無料休憩所、トイレなどの設置</p> <p>広報・PR</p> <p>市報の活用</p>
--	---	--	--

まち歩きの感想

<p>住宅地のイメージ</p> <p>静かで良い</p> <p>コミュニティの強さを感じる</p> <p>少人数で散歩するには良い</p> <p>ゴチャゴチャした感じ(住宅地)</p> <p>民家との混在</p> <p>民家が入り組んだ路を散策するのに理解が必要だと思う</p> <p>大人数の散策には向いていないと思う</p>	<p>歴史的資源</p> <p>歴史ある施設が多く残されているのが分かった</p>	<p>ランドマーク</p> <p>コスモの煙突(ランドマーク)としてイメージダウン</p>
<p>来街者のアクセスの問題</p> <p>車で入りにくい</p> <p>国道23号線で東西が分断されているイメージ</p> <p>駐車場がない、交通の便が悪い。</p> <p>市街地からの動線が長い</p>	<p>散策する上での課題</p> <p>看板が少ない</p> <p>案内不足</p> <p>史跡がバラバラ。番号を付けて連携すべき</p> <p>散策コースなどの設定があれば利用しやすくなると思う(PR不足)</p>	

Aチームまち歩きのまとめ2/2

図2: 第1回ワークショップまち歩きのまとめ(Aチーム)



アイデアカードの読み方

アイデア名称
アイデアの名称を示しています。

イメージ図
アイデアのイメージを、図や写真を用いて表現しています。

重要度
アイデアの重要度を3段階で表現しています。

分類
アイデアの分類を示しています。下へいほど詳細な分類になります。

シナリオ
アイデアの具体的な内容や、表現するためのシナリオや課題などを整理しています。

アイデアの場所
場所を特定できるアイデアについて、アイデアを実現できる可能性の高い場所を示しています。

実施主体
アイデアを実施する可能性の高い主体を示しています。

実施時期
アイデアを実施する時期を示します。

番号
アイデアの番号を示しています。

フィルム・コミッションを立ち上げて四日市旧港を舞台にしたドラマや映画を誘致する

重要度：●●●

知ってもらおう
広報を充実させる
四日市旧港を知ってもらおう

シナリオ
観光協会、四日市市役所観光課、商工会議所、四日市大学等の協力を中心としたフィルム・コミッションを立ち上げて、四日市旧港を舞台にしたドラマや映画を誘致し、市民が旧港の魅力を再発見できるようにします。そのためには、映画やドラマの舞台になることなどを実現する際の安全が必要となり、倉庫等のための調査を併行することが求められます。

実施主体
公的な組織（観光協会、四日市市役所観光課、商工会議所、四日市大学等）

実施時期
中長期

市民に親しまれる四日市港づくりのための
1/100

アイデアカードの全体像

知ってもらおう → 来てもらおう → 楽しんでもらう

四日市旧港を知ってもらおう

来てもらおう
アクセスを整備する
自動車によるアクセスを整備する
公共交通機関によるアクセスを整備する
船によるアクセスを整備する
近鉄四日市駅・JR四日市駅と四日市旧港を結ぶ

楽しんでもらう
イベントを開催する
歴史的遺構を活用したイベントを開催する
海や船を活用したイベントを開催する
アートを活用したイベントを開催する
その他のイベントを開催する
スポットを整備する
オープンスペースを充実させる
空き倉庫を活用する
歴史的遺構を活用する
ランドマークを整備する
観光のための環境づくりをする

四日市港アイデアマップ

来街者用駐車場の確保
JR四日市駅に四日市港をPRする仕掛けを施す
JR四日市駅から四日市港までのアクセス空間を整備する
潮呼吸橋の場所を分かりやすくする
納屋運河周辺を水と緑と歴史の軸にする
快速に散策できるプロムナードづくり
稲葉翁記念公園付近を安全に散策できるようにする
潮吹防波堤の上を歩けるようにする
観光・交流ゾーンの設定
：観光ゾーン
：工業ゾーン
：住宅ゾーン

納屋防災緑地を市民の集う広場に
倉庫群周辺の空き倉庫の活用
未だ橋梁・臨港橋の活用
運河周辺の親水空間整備
第一埠頭を芝生広場に
旧管理組合庁舎の活用
ボードウォークの延伸
観光回廊をつくる

ワークショップの概要

	実施日	検討内容
第1回 ワークショップ	2009年 11月21日	まち歩きによる資源・問題点の発見 まち歩き（四日市港北東方面方面）
第2回 ワークショップ	2009年 12月19日	まち歩き（四日市港南方面）
第3回 ワークショップ	2010年 1月21日	市民が四日市港を訪れるためのアイデアの検討 ・アイデアカードの加筆修正意見の検討 ・重要なアイデアカードの抽出 ・重要なアイデアカードの実現シナリオの検討
第4回 ワークショップ	2010年 3月4日	・アイデアカードの最終案の発表 ・最終案に対する修正意見の検討 ・重要なアイデアカードの実現シナリオの検討



図3：市民に親しまれる四日市港づくりのための100のアイデア集の一部その1

フィルム・コミッションを立ち上げて 四日市旧港を舞台にしたドラマや映画 を誘致する

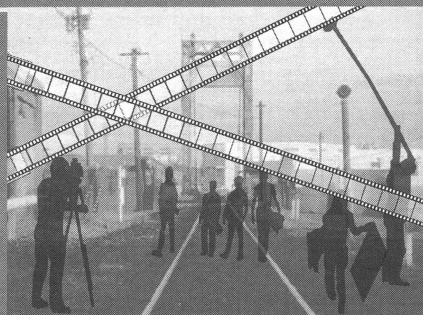
重要度：●●●

知ってもらう

広報を
充実させる

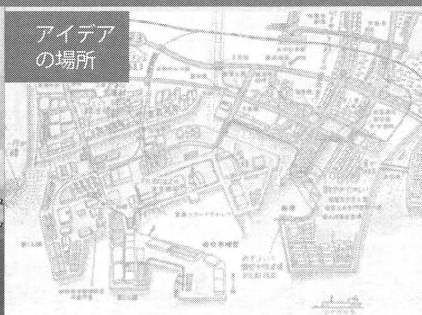
四日市旧港を
知ってもらう

8



シナリオ 観光協会、四日市市役所観光課、商工会議所、四日市大学等の公的な組織を中心としたフィルム・コミッションを立ち上げて、四日市旧港を舞台にしたドラマや映画を誘致することによって、全国的に四日市旧港をPRします。そのためには、映画やドラマの舞台になることが想定される倉庫の保全が必要となり、倉庫保全のための施策を検討することが求められます。

**アイデア
の場所**



実施主体

公的な組織（観光協会、四日市市役所観光課、商工会議所、四日市大学等）

実施時期

中長期

市民に親しまれる
四日市港づくりのための
アイデアカード

1/100

9

来街者用の駐車場を整備する

重要度：●●●

来てもらう

アクセスを
整備する

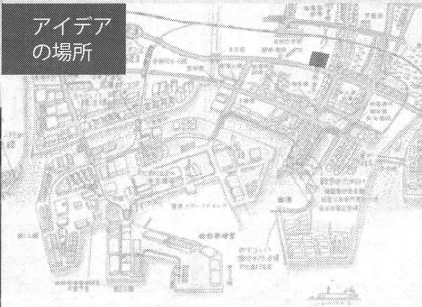
自動車による
アクセスを
整備する

42



シナリオ 四日市港に自動車で訪れる人々のために駐車場を、公的な組織（四日市市役所、四日市港管理組合など）が整備します。例えば、なやプラザの駐車場を活用し、そこから徒歩で四日市港を散策することが考えられます。また、観光スポット毎に分散的に駐車場を整備することも考えられます。

**アイデア
の場所**



実施主体

公的な組織が整備
（四日市市役所、
四日市港管理組
合）

実施時期

短期

市民に親しまれる
四日市港づくりのための
アイデアカード

18/100

43

語り部の案内で四日市旧港を歩く

重要度：●●●

楽しんでもらう

イベントを
開催する

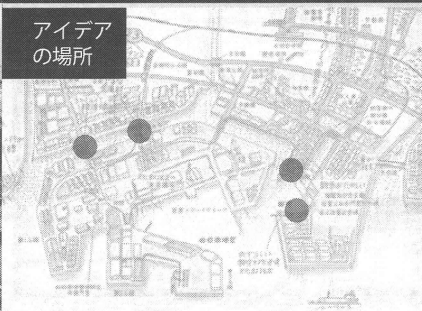
歴史的遺構を
活用したイベント
を開催する

74



シナリオ 四日市旧港を語り部に、歴史や文化について案内してもらいながら散策します。このような取り組みは、みなとサポーターによって、実施されており、また四日市観光協会は年に数回バスツアーに組み込んだ形で実施されています。しかし継続的な実施には、語り部の体制を維持するマンパワーが必要となります。また、様々な人に来てもらうにはルート内の安全確保や、バリアフリー化が求められます。

**アイデア
の場所**



実施主体

みなとサポー
ター、四日市観光
協会

実施時期

現在もやっている

市民に親しまれる
四日市港づくりのための
アイデアカード

34/100

75

プロムナード沿いや船の見える場所 にベンチやテーブルを設置する

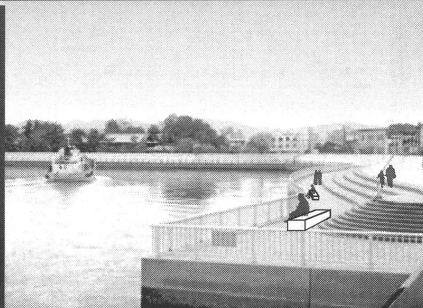
重要度：●●●

楽しんでもらう

スポットを
整備する

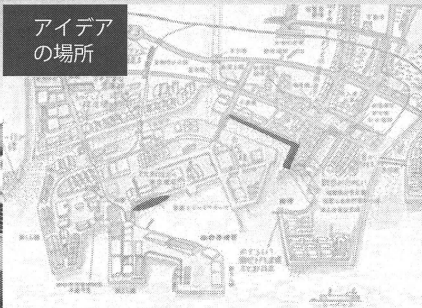
オープンスペース
を充実させる

128



シナリオ 市民が日常的に散歩をしたり、観光客が散策を楽しんだりする際に休憩場所が必要ですが、四日市港周辺には落ち着いて一息つく場所が少ない現状にあります。そのため、プロムナード沿いや船の見える場所にベンチやテーブルを設置します。設備は四日市港管理組合が行い、清掃等は地元住民等が協力します。高波や台風の際に流されないようアンカー付きの物を設置し、津波等の場合は人々に危険を知らせる警報装置の設置が求められます。

**アイデア
の場所**



実施主体

公的な組織（観光協会、四日市市役所観光課、商工会議所、四日市大学等）

実施時期

中長期

市民に親しまれる
四日市港づくりのための
アイデアカード

61/100

129

図4：市民に親しまれる四日市港づくりのための100のアイデア集の一部その2